

土葬の可否に対する当局の見解は

土葬を検討しても許可は難しいと認識

議員 日本では伝統的に火葬が圧倒的に行われており、墓地や霊園においては、火葬されていることが前提で吊われている。一方で土葬は、公衆衛生上の懸念や周辺地権者等との合意形成が不可欠となる。当市における土葬地整備の検討は。

市民生活部長 日本では平成年代以降、火葬率がほぼ100%となり、世界でも高い水準にある。過去に東日本大震災の発災時に火葬場の許容範囲を超えた遺体を処理する方法として、一時的な土葬地整備について検討した事例はあるが、

それ以外には検討したことはない。

議員 土葬は、公衆衛生上の懸念や、周辺地権者等との合意形成を要することから、最終的には行政が介入する公共施策で判断される事案だ。曖昧な公共施策の方向性を示すことは適切ではない。可否を条例で定められる状況にないのであれば、当局の土葬に対する可否を示すメッセージ程度は発信してほしいが。

市民生活部長 ご指摘のとおり、環境配慮や合意形成を必要とする以上、許可を出すことは難しいのではな

いかと考えている。今後の対応のために事案の整理をしたい。

議員 アメリカ国防総省が公開したCMCリストには釜石港に就航している船社の親会社が掲載されているが、影響は。

産業振興部長 当市に就航する国際フェリーコンテナ定期航路については、事業の中断などの航路運営に影響を及ぼすような事例は確認されていない。リストに掲載された事業者は、今後も安定的で信頼できるサービスの提供を続ける姿勢を強調している。

議員 教育現場のみで医療的ケア児の支援は充足しない。医療、福祉、地域支援を横断的にカバーする重層的支援体制の中でも議論すべきだ。具体的な運用や課題の解消の取組は。

障がい児の就学、地域生活における課題や支援策などについて定期的に協議している。また、当事者の家族も含めた幅広い関係者が集まる「医療的ケア児等の未来を考える会」を組織し、必要な支援について課題の抽出や協議、検討を行っている。



葬送のあり方について考えるきっかけを
釜石市大平墓園

CMCリスト…中国軍と関係を持っていると推定される企業の一覧のことで、投資や取引、安全保障上のリスクを可視化する目的で作成されたリスト。
医療的ケア児…日常生活を過ごす上で、医療を要する状態にある児童のこと。



磯崎 翔太
(創政会)



議員のこちら
磯崎 翔太の
動画

質問項目

- ・外国人との共生について
- ・釜石港コンテナ航路について
- ・医療的ケア児の支援について